

京都の「KOUGEI」が深まる相互交流イベント

【KYOTO KOUGEI WEEK 公式プログラム】

オンラインシンポジウム「Things - 工芸から覗く未来」がいよいよ開催

2021年2月19日（金）・20日（土）・21日（日）＊要事前申込

<https://kougeiweek.kyoto>

2020年から2021年にかけて、京都府に集まった世界中の人々が、「伝統文化」や「手仕事の技」「販路・流通」などを議論し、相互交流を深めることを目的とした複合的なプロジェクト「KYOTO KOUGEI WEEK」。公式プログラムのひとつである、京都精華大学伝統産業イノベーションセンター主催によるオンラインシンポジウム「Things - 工芸から覗く未来」が、三日間に渡りいよいよ開催になります。計6回の分科会には、総勢30名の多様な登壇者がオンラインにて登壇し、工芸を起点に未来の社会像を探る内容となります。媒体をお持ちの方は情報の掲載や取材をご検討いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

Things 工芸から覗く未来

2021 2.19 FRI - 21 SUN

参加費無料 / オンライン開催 (要事前申込)
Free online symposium / Open to the public (pre-registration required)

Things—The Future Seen Through Craft

京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター × KYOTO KOUGEI WEEK 2021 シンポジウム

Symposium hosted by the Center for Innovation in Traditional Industries
at Kyoto Seika University and KYOTO KOUGEI WEEK 2021

イラスト/菊 蓮広

多角的な視点で社会課題を議論する「Things - 工芸から覗く未来」は、KYOTO KOUGEI WEEK の一環として自然環境やプロダクトデザイン、教育、職人文化など工芸をめぐる有形無形の事柄について議論を行う、三日間に渡るオンラインでのシンポジウムです。本イベントは京都精華大学伝統産業イノベーションセンター主催により開催され、計6回の分科会をオンラインにて配信。特設 web サイトより事前にお申し込みのうえ、ぜひふるってご参加ください。

▶▶ 開催詳細は次ページへ

京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター主催オンラインシンポジウム「Things - 工芸から覗く未来」

日時：2021年2月19日（金）、20日（土）、21日（日）参加無料・オンライン開催（要事前申込）

時間：各日 15:00-17:00 / 17:30-19:30 の2部構成

主催：京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター

共催：「KYOTO KOUGEI WEEK」実行委員会

協力：文化庁、京都府、京都市、京都商工会議所

運営支援：MTRL KYOTO

特設ウェブサイト：<http://dento.kyoto-seika.ac.jp/things/> お申し込みはこちらから



	2.19 FRI	2.20 SAT	2.21 SUN
Part 1	<p>15:00~17:00</p> <p>アウト・オブ・民藝「世界の民芸玩具と玩具趣味のネットワーク」</p> <p><i>Out of Mingei: Folk Toys of the World and the Network of Toy Enthusiasts</i></p>	<p>15:00~17:00</p> <p>工芸とデザイン・流通</p> <p>Design and Distribution in Craft</p>	<p>15:00~17:00</p> <p>伝統文化を教育に活かす</p> <p>Traditional Culture and Pedagogy</p> <p>※本分科会は事前収録した動画を開始時刻に配信いたします。 This is a pre-recorded session. The video will be available to live stream at the specified time.</p>
Speakers	<p>中村 裕太 / 軸原 ヨウスケ / 尾崎 織女</p> <p>Yuta Nakamura / Yosuke Jikuhara / Ayame Osaki</p>	<p>金谷 勉 / 淡田 明美 / 白水 高広 / 小林 新也</p> <p>Tsutomu Kanaya / Akemi Awada / Takahiro Shiramizu / Shinya Kobayashi</p>	<p>江 明親 / 井上 葉子 / 清水 貴夫 / グラハム・エラード / 米原 有二</p> <p>Min-Chin Kay Chiang / Yoko Inoue / Takao Shimizu / Graham Ellard / Yuji Yonehara</p>
Part 2	<p>17:30~19:30</p> <p>ものづくりと生態系</p> <p>Object-Making and the Ecosystem</p>	<p>17:30~19:30</p> <p>地域を活かす工芸</p> <p>Regional Revitalization through Craft</p>	<p>17:30~19:30</p> <p>手仕事にみる『職人性』</p> <p>Artisanship in Handcrafts</p>
Speakers	<p>王 智弘 / 堤 卓也 / 松山 幸子 / 永原 礪 / 辻 徳人 / 西 禎恒 / 米原 有二</p> <p>Tomohiro Oh / Takuya Tsutsumi / Sachiko Matsuyama / Leki Nagahara / Naruto Tsuji / Yoshitsune Nishi / Yuji Yonehara</p>	<p>山崎 伸吾 / 新山 直広 / 永田 宙郷 / 北林 功 / 岩井 巽 / 高須賀 活良</p> <p>Shingo Yamasaki / Naohiro Niiyama / Okisato Nagata / Isao Kitabayashi / Tatsumi Iwai / Katsura Takasuka</p>	<p>鞍田 崇 / 八木 隆裕 / 中川 周士 / 谷口 弦 / 桐本 泰一</p> <p>Takashi Kurata / Takahiro Yagi / Shuji Nakagawa / Gen Taniguchi / Taiichi Kirimoto</p>

公式 SNS でも最新情報を発信中！



▶ facebook
ID:kyotokougeiweek



▶ Instagram
ID:kyotokougeiweek

■KYOTO KOUGEI WEEK 開催概要-----

「KYOTO KOUGEI WEEK」とは、京都府に集まった世界中の人々が、「伝統文化」や「手仕事の技」「販路・流通」などを議論し、相互交流を深めることを目的としたプロジェクトです。今年度は2021年2月から3月にかけて、「KOUGEI」にまつわるシンポジウムや展示販売会、オンラインを活用した取り組みや展覧会など、様々な企画が京都府内の各所にて開催されます。春を待つ京都で「KOUGEI」とあなたが交差します。

<KKW公式プログラム>

【オンライン工房訪問 ONLINE FACTORY VISIT】*年間を通した取り組みです

【Kyoto House】*年間を通した取り組みです

【Things -工芸から覗く未来】2021年2月19日[金] - 2月21日[日] at.オンライン

【FROM / TO】2021年2月26日[金] at.FabCafe Kyoto

【DIALOGUE+】2021年3月10日[水] - 3月14日[日] at.京都伝統産業ミュージアム、ホテル カンラ 京都ほか

【びーむすじゃばんきょうと】※詳細が決まり次第お知らせします

<KKW 公式メディア>KYOTO CRAFTS MAGAZINE では、鞍田崇 × 中村裕太 × 米原有二による事前座談会の記事が公開中！

KYOTO KOUGEI WEEK の公式メディアである「KYOTO CRAFTS MAGAZINE」では、シンポジウムの登壇者でもある**鞍田崇氏(哲学者)**、**中村裕太氏(京都精華大学芸術学部教員)**、**米原有二氏(京都精華大学伝統産業イノベーションセンター長)**の3名による事前座談会の様子が公開されています。

前回の内容を振り返りながら、今回の注目すべきキーワードやポイントについてそれぞれの立場から触れられています。

ぜひこちらもお楽しみください。

>> <https://www.kougeimagazine.com>



「Things - 工芸から覗く未来」に向けて
鞍田崇 × 中村裕太 × 米原有二 による事前座談会

2019年9月、京都精華大学 伝統産業イノベーションセンターによる初のシンポジウム「We - 工芸から覗く未来」が行われました。目的は、工芸を起点に未来の社会像を考えること。国内外の研究者、実業に工芸にたずさるる個人など様々な立場から、エンガム消費、エコロジー、労働環境といった社会的課題について議論を行いました。そして、本年2月、第2回となるシンポジウムをオンラインで開催します。テーマは「Things - 工芸から覗く未来」。このシンポジウムを前に、京都精華大学 伝統産業イノベーションセンター長・米原有二さん、前回は観て登場する鞍田崇さん、京都精華大学芸術学部教員・中村裕太さんの3人で、今回のシンポジウムへつながるモチベーションを行いました。



2019年「We - 工芸から覗く未来」の様子。(以下の写真すべて)。



多彩な登壇者による「工芸」を起点に社会を見つめるシンポジウムです。ぜひご参加ください。

